

本資料作成日:2021年3月25日



令和2年度

富岡市地域づくり人財育成支援事業

事業報告書

【問合先】

□NPO法人DNA(Design Net-works Association)

027-322-4229 contact@npo-dna.org

<u>http://npo-dna.org/index.html</u> 担当:沼田、南条、辻岡

本資料について



本資料は、令和2年度富岡市地域づくり人財育成支援事業に

関する事業報告書です。







群馬の10代に、 しなやかな学びを。



報告書 アウトライン



- ●1. 報告サマリー
- ●2. 事業成果① 対生徒・学校
- ●3. 事業成果② 対センパイ
- ●4. 事業成果③ 広報(ひとづくり周知活動)
- ●5. 学校からの評価・ニーズ



取組

【中高生と若者】

「未来の教室」 "センパイ"との出会い

【若者同士】

オープンデー等 異なる立場・業種の人たちの 集まり

こうなりたい!

富岡にこんな人いるんだ

ちょっとやってみようかな

地域への愛着形成 共創できる仲間づくり こんなことできそうだな それやってみたい! この人すごいな、、、!

少子化・超高齢社会 人口減少への対応

新たな価値の創造

1-2. 事業全体像



この街の未来を、まちぐるみで支えよう 「未来の教室」

この街の未来を、まちぐるみで支えよう「未来の教室」

若い世代の人口流出や地域住民同士の関係性の希薄化が課題となる中、市では、将来を担う中高生の人財育成に取り組んでいます。その取り組みの1つとして、市内の中学生を対象とした人財育成支援事業「未来の教室」を実施します!

「未来の教室」とは?

社会人、大学生、高校生など、中学生の少し先の未来を歩んでいる地域のセンパイたちと少人数のグループに分かれて対話をしたり、センパイたちが語る人生の経験談を聴いたりすることで、日常生活や将来について前向きに考えるきっかけをつくる約2時間の授業です。授業を通じて、「じぶんの住んでいる地域には、じぶんのことを応援してくれる人がいるんだ。」ということに気づき、自分の地域について、関心や愛着を持てるようになることを目指しています。

富岡市ウェブページより

1-3. 事業概要①



			TOMIOKA MACHI NO SEN			
【目的】	若者」及び「君	也域の若者と協働し、市内の中学校及び高等学校で「未来の教室」という授業を実施する。授業の実施を通じて、「中学生と 告者」及び「若者同士」のつながりを創出することを本事業の目的とする。 →①「つながりの数と質」と、②それによって生まれた「効果」が、事業成果になる。				
【対象者】	【中高生】 ①受益者	中学校6校 妙義中学校 高等学校2校 富岡実業高	、富岡中学校、東中学校、西中学校、南中学校、北中学校 等学校、富岡高等学校			
つながり(関係)の持ち方として4つの関わり方がある。対象者の属性を、それぞれの関わり方によって整理する。		【20-30代社会人】 ②参画者	●公共団体や民間企業に勤める社会人、個人事業等で働く社会人 (農家/個人商店/フリーランスなど) ●お祭りなどの町の行事/イベントに参画している社会人 ●一度以上、センパイとして参画したことがある社会人			
① 受益者 事業によって直接的な効果 /恩恵を享受する対象 ②参画者	【市域内】	【市域内】	【10-20代学生】 ②参画者	●富岡出身で市域内外の学校に通う学生(中学/高校/専門学校/短期大学/大学)		
事業に直接的に関わることで間接的な効果/恩恵を享受する対象			【20代以降の社会人】 ③応援者	●一度以上、センパイとして参画したことがある社会人●直接的に事業には参画はできないが、活動の様子を見守り応援したいと願う社会人		
③ 応援者 事業に間接的に関わること で間接的な効果/恩恵を享 受する対象		【民間企業/各種団体】 ②参画者 ③応援者	●富岡市域内で事業展開している民間企業/各種団体(市民団体含む) 団体としては応援者、団体のメンバーは参画者などに区別する必要がある			
④認知者ひとづくりに関する事業の考え方を認知/認識している。	F-1-15/13	【10代-20代学生】 ●市域外在住の学生(高校/専門学校/短期大学/大学) ②参画者 ●有志で参画する学生のほかに、学校単位/ゼミ単位で参画す				
る対象	【市域外】	【20代-30代社会人】 ②参画者	●市域外在住の社会人			

Copyright @ NPO DNA All right reserved. 本資料の無断転載は固く禁じます。

1-4. 事業概要②



【成果】

事業成果 = ①つながりの数と質、②つながりによって生まれた効果(受益者/参画者/応援者の意識と行動、または具体的な事例) 「地域づくり人財育成」=「地域の担い手育成」には、つながりを創出することが効果的であると指摘されている。 短期的には、関わる人々の①地域への愛着形成寄与、②地元企業認知度、③切磋琢磨できる人間関係、④自己肯定感の醸成につながる。

短期的には、関わる人々の①地域への愛有形成奇与、②地元企業認知度、③切磋琢磨でさる人間関係、④自己育定感の醸成につなかる 中長期的には、①U・Iターン人口の増加、②富岡を離れても地元に関係を持ち続ける人口の増加につながる。

また、実際に「富岡という地でアクションを起こす人」が増えていくことを目指すことも検討。

【目的】		【当初目	·····································	【根拠/エビデンス】
授業企画		協働数	8校	授業導入校数
	 授業「未来の教室」等を通じて		550名	関わる生徒数
	「中高生と若者」のつながりを 創る。		量的効果	愛着形成等の数値的評価
		受益者	質的効果	愛着形成等の質的評価
		参画者	50名	センパイコミュニティづくり
	本事業に関わる人たちを育成し コミュニティとして機能を育み 人づくりの効果を生み出す。			センパイ研修(対話)
育成・コ				センパイ研修(語り)
		参画者	量的効果	人間関係醸成などの数値的評価
		参画者	質的効果	人間関係醸成などの質的評価
		参画者	50名	授業「未来の教室」を担うセンパイ10-30代
	 本事業(地域づくり人財育成)	応援者	個人 30名	ひとづくりに賛同する20代以上の人々
広報・渉外	に関わる人たちを増やす。	応援者	企業・団体 10社	ひとづくりを応援する地元企業・団体
		認知者	3,000人/5万人	パンフレットを通じた広報活動

1-5. 2020年度 事業スケジュール (全体)



年 月	対生徒・学校	対センパイ
2020年4月		
5月	『	【準備期間】
6月	【準備期間】	■07/28(火) マチのセンパイ トークライブ第1夜
7月		■07/28(火) マチのセンハイ トークライブ第1夜 ■07/29(水) マチのセンパイ トークライブ第2夜
8月	■08/27(木) 妙義中学校 授業	【研修期間】
9月		■09/30(水) センパイ募集説明会
10月	■10/29(木) 西中学校 授業	■10/01(木) センパイ募集説明会
11月	■11/20(金) 北中学校 授業	
12月	■12/01(火) 南中学校 授業	
12月	■12/16(水) 富岡実業高校 授業	
2021年1月		【研修期間】
2月	■02/19(金) 東中学校 授業 ※中止	
3月	■03/05(金) 富岡高校 授業 ■03/16(火) 富岡中学校 授業 ※中止	

1-6. 2020年度 活動実施 (対学校)



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2	020年度	通算回数
富岡中学校	-	-	64名 2学年	59名 2学年	-	中止	2回
東中学校	120名 1学年	220名 1学年 & 2学年	116名 2学年	105名 2学年	-	中止	5回
西中学校	120名 2学年	83名 2学年	91名 2学年	85名 2学年	80名 2学年	2020年10月29日	5回
北中学校	-	-	-	24名 2学年	25名 2学年	2020年11月20日	2回
南中学校	-	-	-	105名 1学年	105名 2学年	2020年12月1日	2回
妙義 中学校	1	1	54名 2·3年生合同	73名 3学年合同	61名 3学年合同	2020年8月27日	3回
富岡高校	-	-	-	中止	237名 1学年	2021年3月5日	1回
富岡実業 高校	-	-	-	106 1学年	116名 1学年	2020年12月16日	2回
センパイ (延べ)	20名	60名	101名	176名	150名		22回

1-7. 2020年度 活動実施(対センパイ)



概要	NO	日程	参加実数
	1	08/20(木)	13
	2	08/25(火)	14
	ფ	08/26(水)	17
	4	10/15(木)	13
オープンデー	5 10/21(水)		17
ンデ	6	10/22(木)	17
	7	10/28(水)	12
集合研修	8	11/12(木)	17
研 修 	9	11/18(水)	13
	10	11/19(木)	10
	11	11/30(月)	5
	12	12/02(水)	11
	13	12/03(木)	21

概要	NO	日程	参加実数			
	14	12/09(水)	16			
オ	15	12/10(木)	10			
」。 「プ	16	01/28(木)	15			
ープンデ	17	02/04(木)	14			
ĺ	18	02/18(木)	21			
集 合研	19	02/25(木)	11			
研 修	20	02/27(土)	8			
	21	03/02(火)	10			
	22	03/04(木)	15			
	計					

概要	日程	参加実数
キックオフ会	10/08(木)	27
振り返り会(解散会)	03/11(木)	21
計	48	

1-8. 2020年度 活動実施 (広報)



NO	タイトル	目的	日時	場所	実数
1	マチのセンパイ トークライブ第1夜	活動の認知を高める	07/28(火)19:00_21:00	商工会議所会館	24
2	マチのセンパイ トークライブ第2夜	活動の認知を高める	07/29(水)19:00_21:00	商工会議所会館	32
3	センパイ募集説明会	センパイを募集する	09/30(水)19:00_21:00	商工会議所会館	12
4	センパイ募集説明会	センパイを募集する	10/01(木)19:00_21:00	市役所3階	17
		計			85

報告書 アウトライン



- ●1. 報告サマリー
- ●2. 事業成果① 対生徒・学校
- ●3. 事業成果② 対センパイ
- ●4. 事業成果③ 広報(ひとづくり周知活動)
- ●5. 学校からの評価・ニーズ

2-1. 実施詳細① - 授業までの流れ



■ 1. 顔合わせ・ご挨拶

■ 2. 初回打合せ(3か月前)

- ・学年主任/学年団との打ち合わせ
- ・概要説明/狙い設定など
- ・カリキュラムマネジメントの観点からできるだけ学校の日常につなぐ

■ 3 . 最終打合せ(2週間~1か月前)

・当日の事務的な確認など

授業当日

授業案、ワークシート、センパイカタログ、 フューチャーパスポート など

■4.振り返り打合せ

・報告書を用いた振り返り





2-2. 実施詳細② - 当日の様子















2-3. 実施詳細③ - 各学校の取り組み



			概要
西中学校	80名 2学年	2020年10月29日	これまで行ってきた従来通りの授業「未来の教室」
北中学校	25名 2学年	2020年11月20日	これまで行ってきた従来通りの授業「未来の教室」
南中学校	105名 2学年	2020年12月1日	授業「未来の教室」 - 富岡まちの仕事探究編として、 富岡で働く大人たちから地域の仕事について学び、 「富岡まちの仕事新聞」を一人ひとりが制作。
妙義 中学校	61名 3学年合同	2020年8月27日	これまで行ってきた従来通りの授業「未来の教室」
富岡高校	237名 1学年	2021年3月5日	授業「未来の教室」 - 探究編として、生徒一人ひとり が探究テーマを設定することに対して対話的なやり取 りを通じて、地域への接続を目指した。
富岡実業高校	116名 1学年	2020年12月16日	これまで行ってきた従来通りの授業「未来の教室」

2-4. 事業成果① - 全体

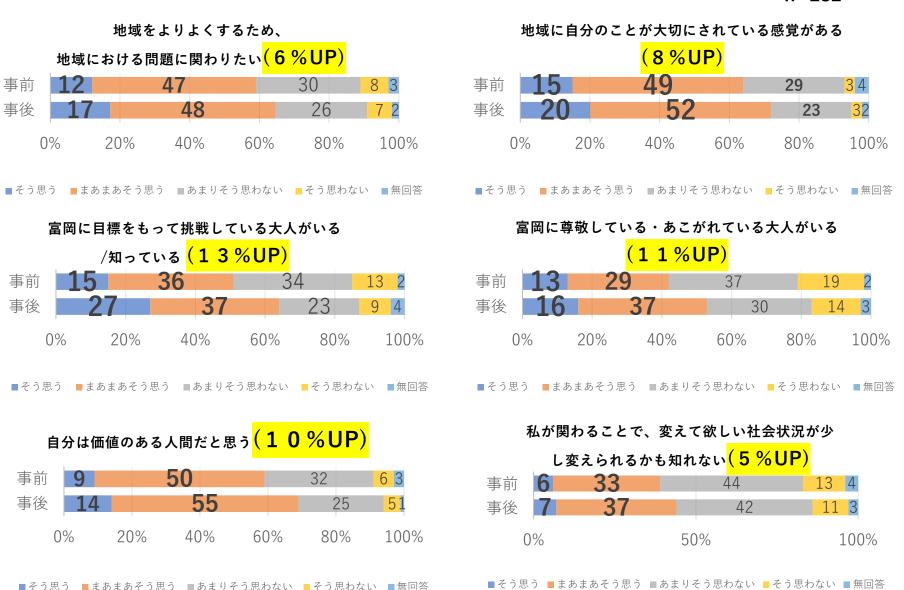


【目	的】	【当初目	標/KPI】	【実績】
		協働数	8校	授業導入校数6校 ※コロナにより2校中止
	授業「未来	受益者	550名	関わった生徒数 <mark>624</mark> 名
授業	の教室」等 を通じて、 「中高生と 若者」の な が る。		量的効果	 ●地域への愛着形成 ・「地域に自分のことが大切にされている感覚がある」 72%(事前アンケート比8%up) ・「富岡に目標をもって挑戦している大人がいる」 64%(事前アンケート比13%up) ・「富岡に尊敬している・あこがれている人がいる」 53%(事前アンケート比11%up) ●自分に対する肯定感 ・「自分は、価値のある人間だと思う」 69%(事前アンケート比10%up)
		受益者	質的効果	●次ページ以降、詳細掲載

2-5. 事業成果② - 量的効果 (事前・事後アンケートより)



n=282



2-6. 事業成果③ - 質的効果(生徒のアウトプット)



●授業を通じて生徒が考えたこと・今後の抱負等

これは過去と現在と未来をつなげていくためのパスポートです。今の東直な気持ちをここに書き残していこう。周りの目を気にせず、おそれず 自分の言葉で。いつか見返した時に「未来の教堂」での出来事や今の自分を思い出せるように。そしてまた新たな一歩を踏み出せるように。

今まで、大人の人は水がな、自分の はとにかく周りが見えて自分自 ことに共感してくれないと思っていたけれ 身の事もしっかり分かっていて本当にすごい Y: ぎーもーさんは自分をそういう事あった なって思うのでも抱え込みすぎないで よて、体験を交じえて、否定すること いって"も相談してわ。 なく語をきいてくださって話していて は人の真な考えかれてるし 楽しかった。また、今日で好きなものは けたしの内容を分りべずはなしている たいなと思いまとた たくさみなったけれど、大切たしてい きたいものか明明に分からなかった 自分が思っていることを確欠に相手に伝えられてすごいと思うし、責任 けれど、前よりも大切にしたいもの からかった。今まで自分が決めつけて 感があるのでこれからもからはって いたものも変えてくれるようなお きかきけて良かった。 相手の事をきずかう事ができる、そして、相手の 事で窓び、考えなから、まましょする事かでかまる所

とても楽しかった。
最初は大人の人と話すのはこわいし
がいいしゃだなと、思っていたけど
実際を話すのはとても楽しかったし、
否定もなかったから、自分の考えを言うのも
まったくこわくなかった。
大人の人とこれなにかっつた話せたのな
大人の人とこれなにかったなどでしたし、
大人の人とこれなにかったなどでしたし、
大人の人とこれなにかったなかった。
大人の人とこれなにかったなかった。
大人の人とこれなにかったなかった。
大人の人とこれなにかったなかった。
大人の人とこれなにかったなかった。
大人の人とこれなにかった。
大人の人とこれなにかった。
大人の人とこれなにかった。
大人の人とこれなにかった。
大人の人といれなと思って、楽しかったこう。

これは過去と現在と未来をつなげていくためのパスポートです。今の素直な気持ちをここに書き残していこう。周りの目を気にせず、おそれず 自分の言葉で。いつか見返した時に「未来の教室」での出来事や今の自分を思い出せるように。そしてまた新たな一歩を踏み出せるように。 。先輩たちの話を聞いて, 自分 苦手なことにチャレンジしているところのい の悪いところまり、良いとこ ステキリ 人を助けたいという気持ちを 3を大切にしょうと思いま 持っているところもステキ! した。また、苦手なことがあっ 困っている日寺に目かけてくれる戸斤が ステキ、未来のことをしっかり考えていていいなと思いたよ ても自分の好きなことも得意 ねところをいかせるように ・人どうしのトラナソレになっている時、しっかり することが必要だと思いま ンを静た判断して、すざいなどに、た した。切ので、私は「やれるよう ・未来の事にかして今から になりたいこと」をしっても 考えているところがいいと思った。 できるように頑張りたいです。

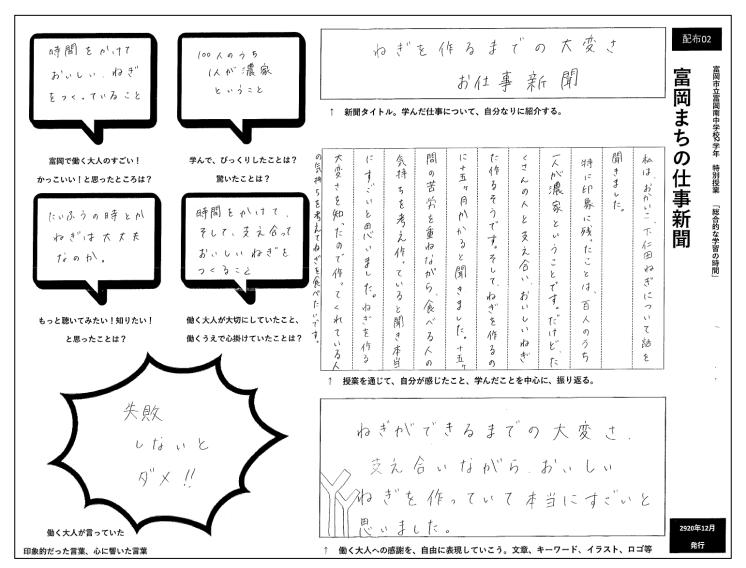
これは過去と現在と未来をつなげていくためのパスポートです。今の裏直な気持ちをここに書き残していこう。周りの目を気にせず、おそれず自分の言葉で。いつか見返した時に「未来の教室」での出来事や今の自分を思い出せるように。そしてまた新たな一歩を踏み出せるように。

今は、自分、自分、自身の ことを 受け込れられず 恋定 ばかりしているけど いつか、自分を受けいれて 言能かと 笑い合えればいいと思う

2-7. 事業成果④ - 質的効果(生徒のアウトプット)



●「まちの仕事」について探究した生徒のアウトプット



報告書 アウトライン



- ●1. 報告サマリー
- ●2. 事業成果① 対生徒・学校
- ●3. 事業成果② 対センパイ
- ●4. 事業成果③ 広報(ひとづくり周知活動)
- ●5. 学校からの評価・ニーズ

3-1. 実施詳細① - 研修の流れ

TOMIOKA MACHI NO SENPAI

- ■1. センパイ募集説明会
- ■2.キックオフ
- ■3.オープンデー(研修)
 - ・平日の夜2時間研修
 - ・センパイ一人につき、 2回以上は参加し、 授業当日に臨む
 - ・「対話」に関する研修を 行い、生徒と関係を築き、 安心・安全な場づくりが できる状態へ
 - ・2020年度は計22回実施
- ■4.授業当日





3-2. 実施詳細② - 研修の様子











Copyright @ NPO DNA All right reserved. 本資料の無断転載は固く禁じます。

3-3. 実施詳細③ - 集合写真





3-4. 事業成果① - 全体



【目的	【目的】		目標/KPI】	【実績】		
	本事業に 関わる人 たちを育	参画者	50名	●実数 <mark>78</mark> 名 ●延べ 150 名 ●協力企業 5 社	センパイコミュニティづくり センパイ研修 (対話) センパイ研修 (語り)	
コミュニティ	に成ミテて育づ効みらしュィ機みく果出て、二と能、りをすする。	参画者	量的効果	・「富岡に将来のことや 実現したいことを ●地域への愛着 ・「地域で活動している人 ともに取り組んでいる感 ・「地域の子どもたちの様	つ人と交流している」86.2%(非参加者比53.9pt) 話し合える人がいる」69.4%(非参加者比24.7pt) の想いや考えを代弁することができ、さらに 覚がある。」70%(前年度比17%UP) 子に関心があり、『地域の子どもは地域で る。」81%(前年度比20%UP)	
		参画者	質的効果	●次ページ詳細		

3-5. 事業成果① (量的成果・挑戦者への応援)



挑戦する人に対して、 応援することができている

非参加者

▶ 参加者(事後)

差分

64.5%

86.2%

21.7pt

※「とてもそう思う|「そう思う|と回答した人の割合

富岡は、挑戦する人に対して 応援する雰囲気がある

非参加者 🕨 参加者 (事後)

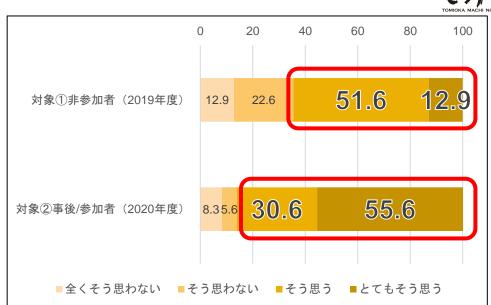
差分

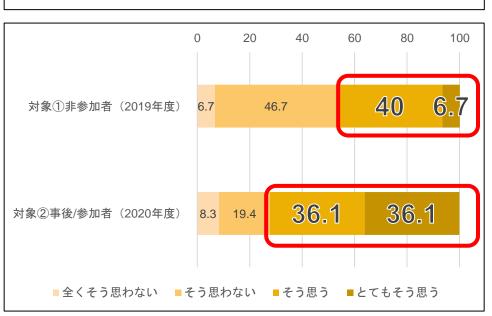
46.7%

72.2%

25.5pt

※「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合





3-6. 事業成果② (量的成果 - つながり・交流)



様々な立場や役割を持つ人 と交流している

非参加者

参加者(事後)

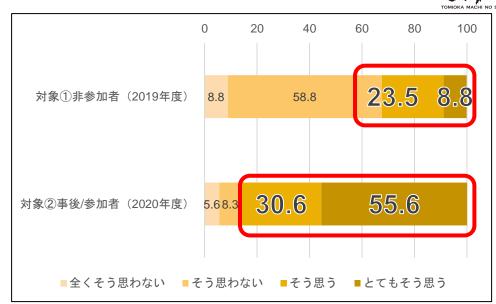
差分

32.3%

<u>86.2</u>%

53.9pt

※「とてもそう思う|「そう思う|と回答した人の割合



富岡には、自分と異なる立場や 役割を持つ人と関われる機会がある

非参加者

参加者(事後)

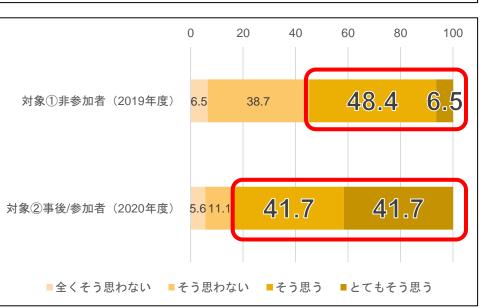
差分

54.9%

83.4%

28.5pt

※「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合



3-7. 事業成果③ (量的成果 - つながり・地域への愛着)



富岡に将来のことや実現したい ことを話し合える人がいる

非参加者

参加者(事後)

差分

<u>44.7%</u>

<u>69.4_%</u>

24.7pt

※「とてもそう思う|「そう思う|と回答した人の割合

富岡には、将来のことや実現したい ことを話し合える雰囲気がある

非参加者 🕨 参加者 (事後)

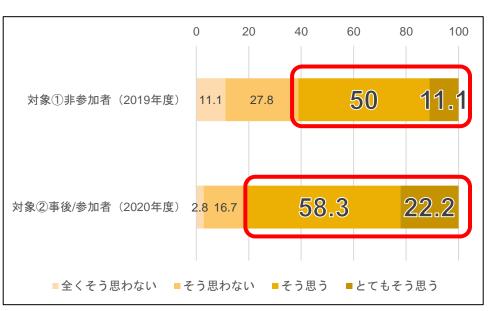
差分

<u>61.1%</u>

80.5%

19.4pt

※「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合



3-8. 事業成果④ (量的成果 - 地域への愛着)



授業「未来の教室」終了直後に、センパイの自己評価を振り返るアンケート。 センパイとしての資質・能力を段階別に評価し、自己評価した結果が次の通り。 (センパイ総数150名、アンケート回収数114枚、回収率76%)

「地域への愛着」:地域で起きていることに関心を持ち、関わろうとしていますか?									
		(自分も含めた)地域で活動している人域で活動している人の想いや考えを代弁していることができ、 といるにともに取り組んでいる感覚がある	の想いや考えを代弁 することは出来るが、 ともに取り組んでい	(自分も含めた) 地域で活動している人の想いや考えを理解していない、知らない		無回答			
=刃=並 . =刃 f n	2019年度	53%	21%	7%	0%	19%			
認識・認知	2020年度	70%(80人)	23%(26人)	6%(7人)	0%	1%(1人)			
		様子に関心があり、	が、「地域の子ども	地域の子どもたちの 様子に関心が無くは ない	地域の子どもたちの 様子に関心がない	無回答			
自分との	2019年度	61%	17%	4%	0%	18%			
関連性	2020年度	81%(92人)	14%(16人)	3%(4人)	0%	2%(2人)			

3-9. 事業成果⑤ (質的成果 - 自身が成長できたと思う点)



- ●対話の力。実際にリアルな高校生と関わる中でいろんな心や状況に出会い、その都度試行錯誤したりして、この活動に出会う前よりも断然対話の面で成長できたとおもう
- ●地域の子供たちの話をじっくり聴き、そして子供たちが発した夢や希望に対して応援できた。なかなか普段経験できることではないので、とても良き機会と成長を感じることができた。
- ●人の為に動くことの楽しさを知って人の為に動こうとすることができるようになったこと。常に「生徒の為に」や「生徒にとって」などの生徒主語の行動・言動を意識して、生徒が話せて良かったや良い機会になったと思ってもらえたことが嬉しく、その言葉を聞きたくて頑張ろうと思えたから。
- コミュニケーション能力。中でも訊くことの能力。対話を重ねるにつれて、相手の話を前向きに聞くことができるようになった。
- ●自分の子供と接するときも、考えながら接するようになった。高校生はある程度、自立した考えを持っているので、そこに触れられる機会があるのは、こちらとしても面白い。
- ●今までは中学生や高校生と関わりがなかったため、将来や自分の住むまちに対してどのようなことを考えているか、また日頃どのような活動をしているのかがわからなかったです。この活動を通して、仕事でも高校生と関わる機会が増えました。というよりも意識的に関わる機会を設けて、高校生にとって社会との繋がりを作りたい思うようになりました。
- ●アウトプット、自己開示を積極的にできるようになったこと。オープンデーの際に行うチェックインや、「未来の教室」本番を何度も経験したから。
- ●コミュニケーション能力が上がった

- ●周りの状況を確認して、できることを行動できるようになりました。 今までであれば行動しなかったりした事も自分から他に対応している人がいないかを確認して行動できるようにと感じ始めた為。 おそらくは自分がその場に馴染めている感覚を持ったから自然体で動けているのかもしれないです。また、写真撮影の際に笑顔が出せるようになってきました。
- ●今回の活動を通じて、富岡にある雰囲気や人との関わり方を肌で感じる事ができました。その中で、富岡に対する想いにとても刺激を受けることができました。時には嘆いたり憂うこともありつつ、次の世代の事を想い接し、行動している姿は今の富岡の人や環境が揃ってのことだと思うのと同時に、自分自身も今できることをしっかりと向き合い取り組んでいこうと物事に対する向き合い方を学ぶことができました。
- ●普段何気なく行っているコミュニケーションを見直し、他者との関わり方、会話で相手と良好な関係性を築く努力、それらを意識しながら行うとなかなかに大変で、難しいことを知った。しかし、意識して行うことで、より、相手を知れることを学んだ。
- ●相手の立場を尊重し、伴走することを意識するようになった。結果、色々な価値観を受容できるようになり、自身の幅を広げることができた。
- ●傾聴力を高められました。積極的に話してくれない学生も 多い中、自分の話を交えつつ相手の話を聞き出したり、気長 に返答を待ったりすることもあったので。
- ●対話を通して相手と誠実に向き合うこと
- ●人と会話をする、発表することで、自分の考えを言葉にする事が今までよりも得意になった気がします。
- ●意識的な成長ですが、自分が常に前向きでいられるには、 どうすればいいかを考えるようになったことです。

3-10. 事業成果⑥ (質的成果 - つながりの効果)



- ●未来の教室で出会う全ての人とは、これまでにない大切な出会いでした。雇われることや公務員という道を選ばなかったわたしだからこそ、市役所の方やDNAの方の、本質でまっすぐで一生懸命な姿は、わたしにとって大事な一部となっています。
- ●若手市役所職員の誠実さと熱心さを感じました。もっと多くの民間を巻き込み、官民一体となってこの地域を育てる風土を創っていきたい。
- ●年齢を超えた関わりが生まれた。普通に大学だけで生活していれば 同年代の人としかほとんど関わることがないが、社会人の人、高校生 や中学生といった少し下の年代関係なく深い関わりができたことは今 後社会に出た時に必ず役に立つと思う。
- ●富岡出身でない私が、いろんな富岡の人や、いろんな富岡市外の人 とつながることができた。今後の富岡生活を豊かにすることができる。
- ●10年20年たったときに、未来の教室で関わった子達が、社会、ひいては富岡の担い手になっていることを想像すると、将来への投資として重要ではないかと考える。また、将来、この世代と我々世代が共存共栄する意味も込めて、お互いの理解が得やすいと考える。
- ●自分の職場以外の方々との関わることで、自分の世界が広がったし、考えの幅も広がる事ができた。自分の考えを発表する場というのはあまりないので、自分以外の人も色々考えているのだなあと感じる事ができた。
- ●職業、年齢、住んでる場所が違う人と輪を作ることによって、今までにない価値観を見出せた。
- ●富岡の熱い方々との出会いがあり、地域との繋がりが生まれたと思います。
- ●富岡で知り合いが増えた。若い世代とのつながりができた。 これから共に面白い取り組みができたら良いですね。
- ●子供はいないので日常生活で学生と触れ合う機会がなく、学生のことを考えることも少ないため、学校に出向き学生と向き合う時間は私にとっても貴重
- ●高校生と関わることで、先生とも関わるようになりました。今では、 気軽に職員室に遊びに行きコーヒーを飲みながら雑談するような関係 性が育め、行政と教育が連携した事業を企画しています。

- ●私がやってみたいこと、ありたい自分、自分の誇れること、それら全てを否定しないで聞いてくれる人のおかげで、自分のことが少しずつ好きになれました。誰かに言うのは恥ずかしいと思って隠していた本音は、自分を好きになるチャンスを逃してたことだったんだな。と気づくことができました。
- ●昨年度からの継続的なつながりが少し濃くなったかと感じるとともに、新たなつながりに対して自分から入ろうという意識が出てきました。 意識だけではなく、自分から話しかけたりと行動に移す事ができるようになってきた事が大きいです。 今までは意識していても行動できなかったのでとても驚きである。
- ●純粋に富岡のことが好きになり、気になる存在になりました。富岡市役所の方達や中学生、高校生だけでなく、富岡で活動している人やゆかりのある人を知ることもできました。普段の生活では関係性を持つこともできない価値観や立場の人とも知り合えたことはこれからの私の生き方にとってもとても大切なことですし大切にしていきたい経験です。
- ●職場の人や、地域の大人、地域の学生と繋がることができ、職場での何気ない会話の糸口であったり、仕事や町で関わった方と出くわした時など、繋がりが広く持てた事により、富岡市で働くことが楽しくなった。
- ●職場の仲間たちが、仕事以外でどんなことを考えているかを知る機会になりました。日頃のコミュニケーションで活かせそうです。
- ●富岡の生徒を後押ししたい、富岡を良くしたいという志を持った 方々とつながることができた。このネットワークは大切な無形財産で あり、富岡のまちづくり、人づくりにとって大きなエネルギーになる と思う。
- ●①職場での横のつながり。②職場以外でのつながり。①部署を横断した、つながりがあることにより、仕事がしやすくなった。②職場以外の視点・意見を取り込む機会になった。
- ●今後の仕事に役に立つ
- ●悩みや課題を相談し合える仲間ができました。今まではなにかあっても自分で解決しようとしていた部分がありましたが、そうだんすることでいろんな意見を取り入れ価値観も広がったと思います。

報告書 アウトライン



- ●1. 報告サマリー
- ●2. 事業成果① 対生徒・学校
- ●3. 事業成果② 対センパイ
- ●4. 事業成果③ 広報(ひとづくり周知活動)
- ●5. 学校からの評価・ニーズ

4-1. 広報物① - センパイ募集説明会フライヤー





この富岡の10代を まちぐるみで支えよう。 数字でみる10代の現状 「価値のない人間だ」「社会は変わらない」「得意なことがない」 55.1% 64.8% 58.3%

出典:平成30年3月 独立国立青少年教育振興機構・東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所

だから、まちぐるみで10代を支えたい。 「人との関わり」と「対話」で未来を担う"人づくり"

「未来の教室」は社会人、大学生など、中学生や高校生の少し先の未来を歩んでいる地域のセンバイたちと少人数のグループに分かれて対話をしたり、センバイたちが語る人生の経験談を聴いたりすることで、日常生活や将来について前向きに考えるきっかけをつくる約2時間の授業です。中学校・高校を卒業すると"地元"を離れることが多い中で、地元の人々と協力して本授業を届けます。授業を通じて、「じぶんの地元には、じぶんのことを応援してくれる人がいるんだ。」ということに気づき、自分の地域について、関心や愛着を持てるようになることを目指しています。

カンパイとの対意



センパイからの経験談



10代が言葉と行動に、



富岡市 まちなかにぎわい課 (担当:岩崎・武部) TEL: 0274-67-1256 / FAX: 0274-62-0357(代)

E-Mail: nigiwai@city.tomioka.lg.jp 〒370-2316 群馬県富岡市富岡33番地4 旧韮塚製糸場内

〒370-0827 群馬県高崎市鞘町10 立駐高崎ビル3 階 高崎中部名店街事務



4-2. 広報物② - トークライブ フライヤー











どんな人でもローカルで 夢中が見つかる暮らし方

> ゲスト 斎藤 和真さん NPO法人かえる舎 代表理事



4-3. 広報物③ - ロゴ・パンフレット表紙



- ullet パンフレットを通じた広報活動 1,000 人に配布
- ・各学校 全教員分
- ・各説明会などに配布
- ・富岡市成人式に参加者に配布 ほか





↑ロゴ制作

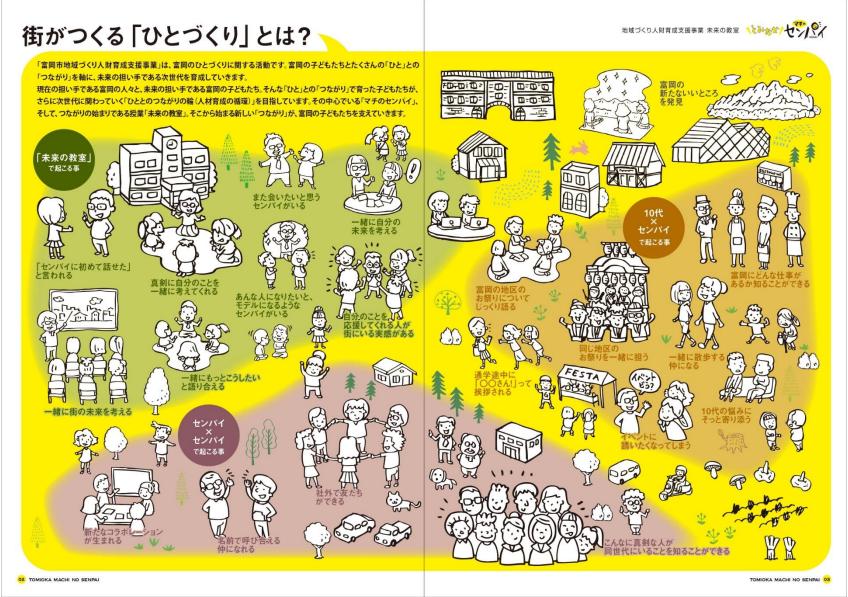
市民の方々が「あの取り組みね」と 想起できるようなデザインイメージ。 富岡の「ひとづくり」イメージを具体化した。

☜パンフレット表紙

全8ページ、市民・教員などあらゆる人が まずは「ひとづくり」イメージを持てる きっかけを目指して制作した。

4-4. 広報物④ - パンフレット中身





4-5. 活動 – 説明会・トークライブ







説明会2回・トークライブ2回 コロナ禍でも集客し、 ひとづくりの考えに 賛同する人々を募りました。



報告書 アウトライン



- ●1. 報告サマリー
- ●2. 事業成果① 対生徒・学校
- ●3. 事業成果② 対センパイ
- ●4. 事業成果③ 広報(ひとづくり周知活動)
- ●5. 学校からの評価・ニーズ

5-1. 学校からの評価・ニーズ



本ページ以降の内容は、事業の一環として、

協働した学校担当者の方々に事業評価を行っていただいた集計結果です。

【調査概要】

●対 象:富岡市の市立中学校6校、県立の高等学校2校の担当教員など

●方 法:質問紙2枚(選択式及び記述式)

●時期:2021年2月22日(月)~3月5日(金)

●回収数:45

●目 的:富岡市地域づくり人財育成支援事業をご担当いただいた先生方に、 アンケートを通じて、以下2点を達成する。

①先生たちの視座から見える「成果」「課題」「展望」を把握するため

②学校と地域の連携の可能性についての「お考え」を確認するため

5-2. ご回答いただいた方々の情報



当該年度(2020年度)以前に、関わりを持たせていただいている先生方にも回答にご協力をいただいています。 そのため、現在の所属学年・職位などにばらつきがあります。

①年代

②所属学年

20代	30代	40代	50代	60代	無回答	計
11	11	6	12	5	0	45

1学年	2学年	3学年	所属学年 なし	無回答	計
7	24	6	8	0	45

③現在の職位

4所属学校

担任	副 担任	学年 主任	教務 主任	管理 職	無回答	計
19	7	11	1	7	0	45

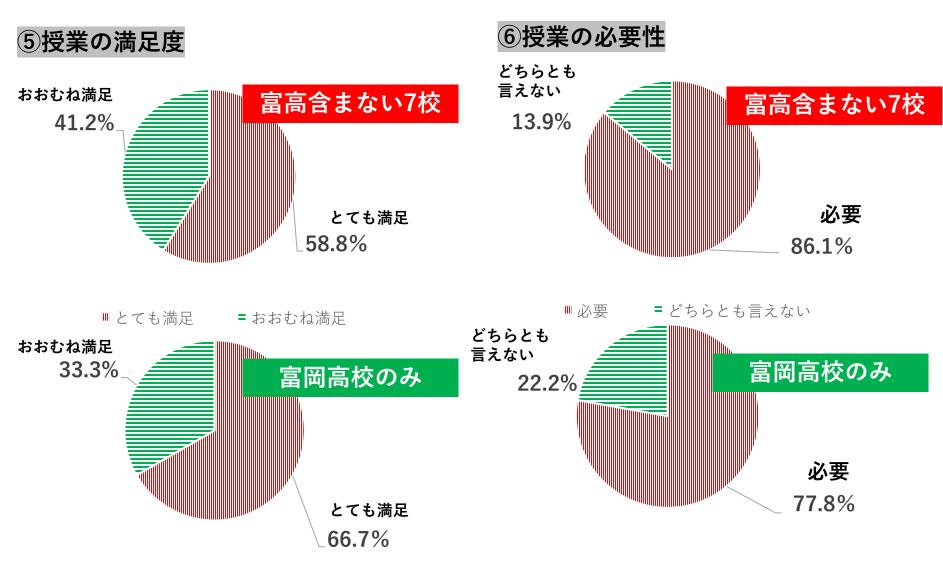
富岡中	東中	西中	北中	南中	妙義 中	富岡実業	富岡 高校	計
2	6	7	3	6	7	5	9	45

45名のうち、多様な属性・立場の方々にご回答をいただくことができました。 それぞれの立場で、感じていることが明らかになる調査結果です。

5-3. 事業に関する満足度・必要性



※富岡高校に関しては、2021年3月5日に授業を実施した関係で、資料作成の都合により独立したグラフとして掲載



■ とても満足 = おおむね満足 Copyright @ NPO DNA All right reserved. 本資料の無断転載は固く禁じます。 **■**必要 **=** どちらとも言えない

5-4. 生徒・学校に対する意義



- 。センパとの対話を通い、消船的は生徒が自分の変見を伝えられるようになりたいという 展想を記述しており、以前よりもまきますと授業に無いするようになってもの
- ・日頃でら脱れ感がありあまり自分のことを話されば、生食をは、センパとの外話であまりますことについて 熱心に語り訳のてものんたことで、外前はりも自分の行時すを低いてくれるようになる。たっとの。 ・2人-3人一種でグルフットでけをしたでは、ファープめての友人関係もたやすにしてまっていてっ
 - · るの年その年の立案、検計・実施ではな、早くが計画に位置ついりかれると、他の学習活動とは関連に見通しが持てる。
 - · 今年度口譜やの状況が、やてでこからなが、他の行事の多くが、中止になって中で実施でなる未必数室」の意義の大きから下りません。

アペンラム内容は、党徒の素直は感情や考えも治也の直で意義のあることでき見る。当時間が一時的なするでは、今後につてもけるという点で、

事がか打ら合わてが详明にわなっかいとや学校の要望のあれてていれだりましょうをかっていわいに対応してくびそるととに感謝しない。

5-5. センパイに対する評価・考え



本番に向けて研修を重ねてくれて感謝します。

生徒にとっては、教師のように記念をせず、生徒ならに親身になって対応してくめる存在で、友重とは重い、頼かる人はなと思います。

- いとてもよく話を聞いてくださってありがたかったです。
- · むい、センいのであの反省会にも参加させていただきまでで、普段接いている中では気がけないことにも気がことができまいる。
- ・生徒にとっては、身近であり、年齢的に、自分のことを受け入れてくれるがをだと感じたよう 2寸。親や友達、先生には晋校はかはか話せないことを先輩には話せたけもしたようです。

富国市内で働く方もだった。生徒にという身近は存在で話しも聞き易いものだったと思います。

5-6. 学校が抱える課題・ニーズ①



中学校にかられているがない、本来の教室」のクーグラムは、自らを育む、地域を基盤して、生きが教育(人材育成)いり点で大変整合性の高い、何値あるのと考します。
この様の学校と地域連携(学校教育と行政の連携)で相方に価値ある。 施策を考しているたい。

は関の草発ではすく、2年、3年と継続についいとで、「地域とのつすがり」を育むでいる地点にまで届くのではないか。 ぜひ、維続をお願いはする。

「無水浴室」は、将来にかて考える、から見かるにあたって、生様になって 大安有面は取組には終してので、今後も継続してほしい。

5-7. 学校が抱える課題・ニーズ②



地域(3+1でよども15のもいり)教育に取り組んでいただけるのは人気ありいたいの地域の課題に気っとことで子どもたちも主体的りにならいしたがあれたいという意識のい芽生えると見ついたのでは、1000と見つ

対高校生にはとても東川別になります。ただ、将来的に地域を担う為には受け回の働く場所が必要だと思うので、大人達に地域の雇用にかけて考えてもらえるかりらんや起業についてのかかくかあるといいなぁで思いまして。

年間を通じて関わっていただけると助かります